

修了式〔3月24日〕

桜のつぼみが膨らみ始め、吹く風も温かさを増し、日に日に春らしくなってくるのを実感します。今日は、白鳥小学校の平成28年度最後の日、1年間の終わりの日です。今、学年の代表の人に修了証を渡しました。この修了証は、皆さん一人一人が、1年間よく努力し、そのすべてを学び終えたということを証明するものです。でも、それは自分の力だけでできたことではありません。今日家へ帰ったら、「1年間ありがとう」という感謝の言葉を添えて、お家の人に渡してください。

さて、今日は1年の最後に、人の「幸せ」ということについて話します。人は誰でも幸せになることを願っています。幸せの形は人それぞれ違うと思いますが、幸せには三つの受けとめ方があると言われた方がいます。

一つ目の幸せは「してもらう幸せ」です。優しく抱っこしてもらったり、お乳をもらったりすると、泣いていた赤ちゃんも嬉しそうな顔になります。これが「してもらう幸せ」です。成長した皆さんでも、家族や友達から何かをしてもらおうと、幸せな気持ちになりますよね。

二つ目の幸せは「できるようになる幸せ」です。自転車に乗れるようになった、逆上がりができるようになった、跳び箱が跳べるようになった、というように今までできなかったことができるようになると、嬉しくてとても幸せな気持ちになります。これが「できるようになる幸せ」です。

そして三つ目は「してあげる幸せ」です。家族に何かたのまれてそれをやってあげたり、友達が困っているときに手助けしてあげたりすると、とても喜ばれます。自分がしたことによって人が喜ぶ、その嬉しそうな顔を見て、自分もまた幸せを感じる。これが「してあげる幸せ」です。

この1年を振り返ってみて、「してもらった幸せ」に感謝し、「できるようになった幸せ」をかみしめながら、「してあげた幸せ」を感じるがあったか自分に問いかけてみてください。そして、来年度は今年よりたくさん幸せを手にすることができるように、自分自身頑張ること、人に優しくすることを心がけてほしいと思います。

4月になると、一つ上の学年に進級します。新しい1年生も入学してきます。今年できるようになったことはさらに上を目指し、だめだったところは来年度こそ絶対によくする、そんな強い心をもてるように、春休みは新年度の準備をしてください。ここにいる全員に期待しています。

病気やけがをしないように、事故にあわないように、一つしかない命を大切に約2週間の休みを過ごしてください。